【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公開番号】特開2001-125756(P2001-125756A)
【公開日】平成13年5月11日(2001.5.11)
【出願番号】特願平11-309954
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　29/38　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/153　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ａ
Ｂ４１Ｊ　29/38　Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/153　３３３Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月23日(2006.8.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
出力装置と、これに接続されるホスト装置と、を備える出力システムであって、
（ａ）前記ホスト装置は、前記出力装置に指令データを送信し、
（ｂ）前記出力装置は、設定値を一時的に記憶する設定値記憶部と、設定値を不揮発に記憶する不揮発性記憶部と、を備え、
前記ホスト装置から送信された指令データを受信し、
前記受信された指令データが前記出力装置を設定する設定値を指定する設定値指定コマンドである場合、当該設定値を前記設定値記憶部に記憶し、
前記受信された指令データが、設定値セーブコマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を不揮発性記憶部に記憶し、
前記受信された指令データが、設定値ロードコマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶し、
前記受信された指令データが出力すべき文字または図形を指定する出力コマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を参照して当該文字または図形を出力する
ことを特徴とする出力システム。
【請求項２】
前記出力装置は、前記受信された指令データが、既定値ロードコマンドである場合、あらかじめ定めた既定値を前記設定値記憶部に記憶する
ことを特徴とする請求項１に記載の出力システム。
【請求項３】
前記出力装置は、電源が投入された場合、もしくは、前記受信された指令データが初期化コマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する
ことを特徴とする請求項１に記載の出力システム。
【請求項４】

前記出力装置は、電源が投入された場合、前記不揮発性記憶部に設定値が記憶されているか否かを調べ、
設定値が記憶されている場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する
ことを特徴とする請求項１に記載の出力システム。
【請求項５】
ホスト装置に接続される出力装置であって、
設定値を一時的に記憶する設定値記憶部と、
設定値を不揮発に記憶する不揮発性記憶部と、
前記ホスト装置から送信された指令データを受信する受信部と、
前記受信された指令データが前記出力装置を設定する設定値を指定する設定値指定コマンドである場合、当該設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値指定制御部と、
前記受信された指令データが、設定値セーブコマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を不揮発性記憶部に記憶する設定値セーブ制御部と、
前記受信された指令データが、設定値ロードコマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値ロード制御部と、
前記受信された指令データが出力すべき文字または図形を指定する出力コマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を参照して当該文字または図形を出力する出力部と、
を備えることを特徴とする出力装置。
【請求項６】
前記受信された指令データが、既定値ロードコマンドである場合、あらかじめ定めた既定値を前記設定値記憶部に記憶する既定値ロード制御部、
をさらに備えることを特徴とする請求項５に記載の出力装置。
【請求項７】
電源が投入された場合、もしくは、前記受信された指令データが初期化コマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する電源投入初期化時制御部、
をさらに備えることを特徴とする請求項５に記載の出力装置。
【請求項８】
電源が投入された場合、前記不揮発性記憶部に設定値が記憶されているか否かを調べ、設定値が記憶されている場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する電源投入時制御部、
をさらに備えることを特徴とする請求項５に記載の出力装置。
【請求項９】
出力装置に接続されるホスト装置であって、
前記出力装置を設定する設定値指定コマンドを生成する設定値指定コマンド生成部と、
設定値セーブコマンドを生成する設定値セーブコマンド生成部と、
設定値ロードコマンドを生成する設定値ロードコマンド生成部と、
前記出力装置に出力させる文字または図形を指定する出力コマンドを生成する出力コマンド生成部と、
前記生成された設定値指定コマンド、設定値セーブコマンド、設定値ロードコマンド、および、出力コマンドを指令データとして前記出力装置に送信する送信部と、
を備えることを特徴とするホスト装置。
【請求項１０】
ホスト装置に接続され、設定値を一時的に記憶する設定値記憶部と、設定値を不揮発に記憶する不揮発性記憶部と、を備える出力装置を制御する制御方法であって、
前記ホスト装置から送信された指令データを受信する受信工程と、
前記受信された指令データが前記出力装置を設定する設定値を指定する設定値指定コマンドである場合、当該設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値指定工程と、

前記受信された指令データが、設定値セーブコマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を不揮発性記憶部に記憶する設定値セーブ工程と、
前記受信された指令データが、設定値ロードコマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値ロード工程と、
前記受信された指令データが出力すべき文字または図形を指定する出力コマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を参照して当該文字または図形を出力する出力工程と、
を備えることを特徴とする出力装置の制御方法。
【請求項１１】
前記受信された指令データが、既定値ロードコマンドである場合、あらかじめ定めた既定値を前記設定値記憶部に記憶する既定値ロード工程、
をさらに備えることを特徴とする請求項１０に記載の出力装置の制御方法。
【請求項１２】
電源が投入された場合、もしくは、前記受信された指令データが初期化コマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する電源投入初期化時工程、
をさらに備えることを特徴とする請求項１０に記載の出力装置の制御方法。
【請求項１３】
電源が投入された場合、前記不揮発性記憶部に設定値が記憶されているか否かを調べ、設定値が記憶されている場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する電源投入時工程、
をさらに備えることを特徴とする請求項１０に記載の出力装置の制御方法。
【請求項１４】
出力装置に接続されるホスト装置を制御する制御方法であって、
前記出力装置を設定する設定値指定コマンドを生成する設定値指定コマンド生成工程と、
設定値セーブコマンドを生成する設定値セーブコマンド生成工程と、
設定値ロードコマンドを生成する設定値ロードコマンド生成工程と、
前記出力装置に出力させる文字または図形を指定する出力コマンドを生成する出力コマンド生成工程と、
前記生成された設定値指定コマンド、設定値セーブコマンド、設定値ロードコマンド、および、出力コマンドを指令データとして前記出力装置に送信する送信工程と、
を備えることを特徴とするホスト装置の制御方法。
【請求項１５】
ホスト装置に接続され、設定値を一時的に記憶する設定値記憶部と、設定値を不揮発に記憶する不揮発性記憶部と、を備える出力装置を制御する処理を実現するプログラムを記録したコンピュータ読取可能な情報記録媒体であって、当該プログラムが実現する処理は、
前記ホスト装置から送信された指令データを受信する受信手順と、
前記受信された指令データが前記出力装置を設定する設定値を指定する設定値指定コマンドである場合、当該設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値指定手順と、
前記受信された指令データが、設定値セーブコマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を不揮発性記憶部に記憶する設定値セーブ手順と、
前記受信された指令データが、設定値ロードコマンドである場合、前記不揮発性記憶部に記憶された設定値を前記設定値記憶部に記憶する設定値ロード手順と、
前記受信された指令データが出力すべき文字または図形を指定する出力コマンドである場合、前記設定値記憶部に記憶された設定値を参照して当該文字または図形を出力する出力手順と、
を備えることを特徴とする情報記録媒体。
【請求項１６】

前記情報記録媒体は、コンパクトディスク、フロッピーディスク、ハードディスク、光磁気ディスク、ディジタルビデオディスク、磁気テープ、または、半導体メモリであることを特徴とする請求項１５に記載の情報記録媒体。